

海外の文化を肌で体感

飛び立て！ 中学生海外派遣事業

綾部市では小中一貫教育の3つの特色の一つに国際理解教育を掲げ、多彩な取り組みの中で英語に親しむ機会を設けています。その取り組みの一環として今年度、中学生を海外に派遣する事業を初めて実施しました。



海外派遣での成果や将来の夢を発表

15人がオーストラリアへ

市教育委員会は「ふるさと教育」「キャリア教育」「国際理解教育」を特色とした小中一貫教育に取り組み中、ふるさとを愛し、生きる力を身に付けた子どもを育成に力を入れています。

不安と期待を胸に

トコブ校に派遣しました。

市教育委員会は「ふるさと教育」「キャリア教育」「国際理解教育」を特色とした小中一貫教育に取り組み中、ふるさとを愛し、生きる力を身に付けた子どもを育成に力を入れています。

参加生徒は事前説明会で、派遣先での生活などについて学ぶとともに、英語での自己紹介やウェルカムセレモニーで発表するよさこいを練習。また、自宅や学校で自主的に

その一つ、国際理解教育の取り組みとして、広い視野と国際感覚を持ち、国際社会で生きる力を養うことを目的に「飛び立て！中学生海外派遣事業」を実施。42人の応募の中から選ばれた15人（2年生4人、3年生11人）を、8月3～12日の10日間にわたりオーストラリア連邦・南オーストラリア州アデレードのハレット



セレモニーで披露するよさこいを練習

報告会で成果を発表

8月3日には、全員が期待に胸を膨らませ、保護者らが見守る中、元気に出発。現地ではホームステイ先から通学し、オーストラリアの歴史や文化を学び、調理実習やダンスの授業、校外学習などで現地の生徒と交流しました。

生徒たちは10日間の研修を終え、全員無事に帰国。市教育委員会は9月3日、生徒たちの交流の様子や体験などの発表を通して同事業の意義を広く知ってもらうことを目的に、研修報告会を開催しました。参加生徒が6班に分かれ、

オーストラリアで学んだことや感じたことを発表。最後には全員が、英語と日本語で将来の夢を堂々と語り、海外派遣の成果が感じられる報告会となりました。

市教育委員会では、来年度以降も同事業を実施する予定にしており、普段の英語の授業をはじめ、多彩な取り組みの中で、外国への興味・関心と英語の技能を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成を目指します。

活動の様子



一生懸命練習した日本の踊り・よさこいは大成功



多くの人に見送られ、元気に行ってきます！

校外学習で野生生物パークへ



授業で英語の発音などを学ぶ



オーストラリアのダンスを体験



オーストラリアの先住民の文化も体験

最終日のお別れ会では涙を浮かべる生徒も



全員そろって元気に帰国報告



参加した生徒の感想



西山 杏実さん(綾部中3年)

出発前は英語が聞き取れるか不安でしたが、ホストファミリーが優しく接してくれたので、とてもうれしかったです。休日には市街地や美術館などに連れてってもらい、よい思い出になりました。国際感覚を身に付け、将来は多くの人に思いを伝えられるような音楽家になりたいです。

学校に留学生が来たとき、初めて知る文化の違いに驚いたことや英語がうまく伝わらずに悔しい思いをした経験から今回の事業に応募しました。最初は不安で胸が押しつぶされそうでしたが、ホストファミリーと仲良くなり、日が経つにつれて不安が飛んでいきました。これからももっと英語を勉強したいです。



白波瀬 蓮君(豊里中2年)

